

大野市文化会館整備基本計画（案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 大野市文化会館整備基本計画（案）について  
 (2) 募集期間 平成 31 年 2 月 1 日（金）から平成 31 年 2 月 14 日（木）までの 14 日間  
 (3) 意見提出状況 提出意見：32 件 提出者：12 人（うち無効 1 人）、1 団体 提出方法：書面 10 件、電子メール 3 件

2 意見の概要とその意見に対する教育委員会の考え方

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
【大ホールの座席数や質について】		
1	<p>P2、6～8 市民主役のステージとは、普段使いの市民の行事レベルの大きさのことか。優れた文化芸術の公演となると、人数のキャパが今までと同じでは少なすぎる。</p> <p>他市のホールと比べると 630 席では少し少ない。演劇、音楽を楽しんでもらえるような芸能人を呼ぶには、約 1,000 席規模は必要。</p> <p>市民が楽しむために市外からも人を寄せる事のできる魅力的な施設建設を希望する。現状の 1.5 倍から 2 倍のキャパまで広げるべき。</p> <p>毎年、剪定や雪吊りなど公園樹木にかかる経費を削減して、無駄な公園は造るべきではない。公園を造っても毎年経費がかからない工夫、節約が必要。</p> <p>大野市の施設は、広い地面を使っているが、本当の目的に使うには狭すぎる。市民に合わせると、中途半端で使いにくく、誰も来てくれない施設となり税金の無駄づかいになる。過大なものはいらぬが、現用より大きなもの良いものを造らなければ、替える必要がないと思ってしまう。これから先 50 年見越して、より良い市民以外の客を呼べるような施設にしていきたい。</p>	<p>基本構想では、「最大 1,000 席程度」とし、基本計画においても、1,000 席程度で検討を進めてまいりました。</p> <p>しかし、PFI 導入可能性調査の結果、1,000 席規模のホールでは、維持管理・運営費が現状よりも大幅に増額になるなどがわかり、将来的な市の財政面も考慮し、座席数を含めた施設規模の見直しを行い、座席数を「現状程度」としています。</p> <p>600 席規模のホールを持つ他の文化施設でも、質の高い優れた文化芸術の公演の場として利用されており、新文化会館におきましても、質の高いホールを整備し、運営を現状よりも充実したものにしていけば、市民だけでなく、市外からも誘客を図ることができるものと考えています。</p> <p>公園施設については、維持管理のしやすさに配慮したものにするなど、維持管理費を抑えるよう努めてまいります。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
2	<p>P6～9 市民が利用しやすい席数と、席数にあったベストな形状を追求していただきたい。年間にかかる維持費を最大限に考慮し、市民の利用回数の増加を目標とすることと、その思案材料を明確にしていきたい。</p> <p>大野市で演奏会を企画する時には座席数は考慮すべきことであり、願わくば市内で一番音響の良い文化会館で演奏したいけれども、集客のことを考えると、とても 640 の席を満席にすることはできません。全国統計においてクラシック人口は全人口の 1%と言われており、人口 3 万人の大野市では 300 人となります。</p> <p>また、市民の発表会等、ステージ上での文化の発信を受け止められるには大きすぎる空間よりも生音・生声がしっかり聞こえるものであってほしいと願います。</p> <p>人口 3 万人の大野市に見あったホール座席数と形状の追求を是非お願いしたい。</p>	<p>基本計画では、座席数を「現状程度」としており、基本設計において、詳細に決めていくこととしています。</p> <p>座席数や音響をはじめとする設備のグレードを新文化会館の利用と運営にあったものとし、過大なものにならないよう検討していきます。</p>
3	<p>P6～9 量より質を求めたホールであってほしい。</p> <p>これまで数々のコンサートホールで演奏した経験から、世界中の人々から愛されるホールは、音響の素晴らしさがホールの最大の要素だということがわかりました。福井県には世界的にその素晴らしさが認められている福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」が存在しています。ぜひ音響・形状・材質等を参考にしていきたいです。「ハーモニーホールふくい」の小ホールは席数 640 程で、大野市が掲げているホール案と同等です。ハーモニーホール・小ホールは「ぶどう畑」型と言われ、どの場所で聞いても良質な音を聞くことができます。</p>	<p>基本計画では、整備コンセプトや施設整備方針に機能性を重視した質の高いホール、優れた文化芸術の公演の舞台となる質の高い施設づくりを挙げています。「音楽」を中心としつつ、多様な文化芸術の公演ができる舞台となるよう、音響設備や舞台機構など、特色ある施設整備を行っていくこととしています。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
4	<p>P6～9 良質なホールを造ることで大野市の文化芸術発展の拠点となり、大野市民の精神的向上、未来を担う子ども達の豊かな心を作ってほしい。それは大野市の文化水準の向上に繋がり、それを市外から県外から認められることは大切である。</p> <p>良質なホールを求めることで、文化向上の活性化を図ることができますし、文化以外のものにも良い影響を与えることができると思います。</p> <p>結果をすぐ求めるのではなく、10年20年単位で未来の大野市民の豊かな心を育てていただきたいです。</p>	<p>新文化会館は、次代の子どもたちに文化芸術の創造の場を与え、豊かな心を育む機会を提供する役割を担うこととしていることから、質の高い施設とすることで、多くの市民が文化芸術に触れる機会を創出していけるよう努めていきます。</p>
5	<p>P8 音響に関しては、各地の職業音楽家から評価されているハーモニーホールふくいを参考に設計をしていただきたい。</p> <p>また、舞台の床色については黒を基調に、出演者がより引き立つような配色が望ましい。</p> <p>客席の座席について、現在は前後の幅が狭く、大人が2時間程度のコンサートを聴くのにつらいので前後の幅に余裕をもたせるほか、座席の幅についても現在のものよりも多少広げていただきたい。</p>	<p>音響設備については、他の事例を参考にしながら、基本設計において検討していきます。</p> <p>また、舞台の床や客席の座席幅など、利用者にとって使い勝手のよい施設となるよう検討していきます。</p>
【練習室について】		
6	<p>P20 練習室に鏡の設置（壁一面）をしてほしい。大野市には鏡のあるスタジオがなく、運動指導をするにあたり、ニーズが高い。市の健康づくりに大いに貢献できる。</p>	<p>基本計画では、施設整備方針で、様々な文化芸術活動に使える施設とすることとしており、ご意見を反映できるよう、基本設計において検討していきます。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
7	<p>P8 練習室（大）（小）1室ずつとなっていますが、大きさ等を検討して、5人程度のバンドやドラム等の練習ができる小さな部屋を2～3室あると利用する人が増加すると思います。もちろん防音等には配慮してあると思います。外に音がもれる様だと使いにくくなると思います。又、大ホールの音ももらえない様にしてほしいです。（ハーモニーホールは大ホールや練習室の音は廊下にももれない構造になっています。又、小さな練習室の稼働率がいいと聞いています。）</p>	<p>練習室の大きさや防音などについては、他の事例を参考にしながら、基本設計において検討していきます。</p>
【設備について】		
8	<p>P7 地下水、自然エネルギー利用の具体はあるのですか。機械的なものは、メンテナンスが欠かせない事、時間が経過すれば壊れるモノで、それにより会館の寿命を縮める要因、マイナスイメージにならないか。余分な経費をかけるべきでなく、シンプルな設備にすべきと考える。（昨今、メンテナンスフリーが基本と考える。）</p>	<p>自然エネルギーなどの省エネルギーの内容については、経費の削減を考慮しながら、基本設計において検討していきます。</p>
9	<p>P4 文化会館敷地と駅東公園の間の市道について、楽器搬入のトラックや出演者等が乗り入れるバスなどの大型車両が出入しやすいように、拡幅する方が利便性が向上する。</p> <p>建設予定地の東側に工場や商店が隣接しているほか、南側に住宅があるため防音対策を徹底してほしい。現在の文化会館は、舞台の音が外部に漏れている。</p>	<p>市道や防音対策については、車両の動線や近隣の状況などを考慮しながら、基本設計において検討していきます。</p>
10	<p>P10 自家発電機を常設しなくても、市内のレンタル業者と緊急災害業務提携を交わせる事により、維持管理費が節約できるのではないのでしょうか。設備に、発電機用外部電源接続用「切替開閉器」を設ける。又、自家発電源の使用する負荷設備をどの様にお考えでしょうか。各練習室ごとに、空調設備・照明設備・コンセントが非常用回路として独立しているのでしょうか。当然ながらWi-Fiも同じです。</p>	<p>ご意見として承ります。基本設計において検討していきます。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
11	P10 受電を高圧設備であれば、デマンドを抑制、自家消化による契約電力低減を図るためにも、太陽光発電は 30kw にされたほうがよろしいのではないのでしょうか。	ご意見として承ります。基本設計において検討していきます。
<b>【駐車場について】</b>		
12	現時点では駐車スペースが足りないのだが、計画では確保できるのか。何台くらい計画しているのか現在との対比をお願いしたい。	現文化会館の駐車場は 97 台分あり、新文化会館では、約 100 台分整備する計画としており、また、新駅東公園を臨時駐車場として利用する計画としています。基本設計において、できるだけ多くの駐車スペースを確保できるよう検討していきます。
<b>【防災設備について】</b>		
13	文化会館建設だけでなく近年災害が多発している中で、多目的な要素で防災施設を併用する計画も考えてはどうか。	現文化会館は、水害時の指定避難所となっていることから、新文化会館においても、避難安全対策や浸水対策を施した施設としていきます。
14	P7 建築基準法では、ホール施設は不特定多数の利用に供する特殊建築物に位置付けられ、耐震や防災など、来場者の安全確保のための基準が厳しく設けられています。また、消防法や興行場法においても、不特定多数の観客施設として非常口、通路幅、危険物の持ち込み禁止、使用制限など、観客の安全に関わる事項が細かく規定されています。新文化会館では、利用者の安全と安心をどの様に講じられているのでしょうか。	新文化会館における安全確保については、基本設計において、各種法令を遵守し、利用者が安全で安心して使用できる施設としていきます。
<b>【管理運営について】</b>		
15	P16 運営体制は、①現状と同じ方法で良い。専門性についてのみ必要に応じて、指定管理者に依頼する方がよいと思う。(業者ペースにならない為にも。)	新文化会館では、従来の貸館としての運営の他、自主事業（鑑賞・普及・育成事業）の充実などを管理運営の考え方として挙げています。自主事業など運営を充実させるには、専門的なノウハウを有する人材の確保が必要であり、市の直営で運営するよりも、運営組織を構築して指定管理者で行う方が、持続可能な体制を確立することができると思っています。

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
16	<p>P16 指定管理者とはどういうものですか。委託する概算費用はどの程度ですか。</p>	<p>指定管理者とは、市が行うべき維持管理・運営業務を民間業者や団体に委託するものです。</p> <p>新文化会館では、指定管理者による運営を行うことを基本とし、より効果的に、将来にわたり、持続した維持管理・運営ができるよう、今後検討していきます。</p>
17	<p>P13 貸館事業を基本とするのであれば、現在の閉館時間を延ばす方が望ましい。最低でも、9時30分まで使用でき、10時に完全撤収の時間としていただきたい。なお、開館時間は通常時は9時にし、イベント等の使用によって早く開館できるようにするなど柔軟な対応をお願いしたい。この場合、利用料金を徴収することが必要。</p> <p>また、現在はイベントの翌日に使えない（舞台の撤収等）場合があるが、そのようなことがないようにしてほしい。このために、利用料金が現在よりも高くなることがあっても仕方がない。</p> <p>大型の楽器を通年で預かってもらえる（有料）ようなシステム、場所を検討してほしい。</p> <p>自主事業について、できる限り平日として、休日は市民の発表の場としての利用を優先してほしい。また、外部からの職業音楽家等の誘致を円滑にできるようにするため、施設の予約ができる期間を現在の半年前から1年前に延ばしてほしい。</p> <p>整備、運営について、若い人の意見を取り入れていただきたい。</p>	<p>平成31年度では、基本設計の実施と並行して、運営について検討を行うこととしています。維持管理・運営業務内容や利用料金などについては、新文化会館を開館するまでに決めていく予定としています。</p> <p>その他、基本設計において、市民参加のワークショップを開催するなど、市民の皆様の意見をお聞きしながら進める予定としています。</p>
18	<p>ここ数年間の使用状況の公表と、経費・管理費の年間費用の公表をお願いしたい。</p>	<p>現文化会館の利用状況は、市のホームページにも掲載しております大野市文化会館整備基本構想に記載されています。</p> <p>現文化会館の経費は、人件費を含め、年間で約35,000千円となっています。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
<b>【事業費について】</b>		
19	P13 貸館事業を基本に行うと記されていますが、現文化会館の使用料は全日の土・日・祝日で43,400円ですが、新文化会館での使用料はどのように検討されていますか。運営、および維持管理費が簡単に節約できるでしょうか。推定事業費21億円は正当性のある金額でしょうか。また、新公園施設の事業費はどのくらいでしょうか。	新文化会館の使用料については、今後検討していきます。事業費については、他の事例などを参考に想定しています。新駅東公園の整備費については、約2億9千万円を想定しています。
20	新文化会館で21億円、取り壊し、公園整備などで6億円の約30億円の費用を要する説明があった。予算について明確に示すべきで、後付で市民に負担を強いる事ではない。	事業費については、他の事例などを参考にし、概算で算出しています。設計をしていない段階で明確に算出することはできませんのでご理解ください。
21	1/2の国の補助金を受ける予定の旨を住民説明会で市側から説明があったが、そもそも補助金を充当しなければならない建設費に過大性はないのでしょうか。	事業費については、他の事例などを参考にし、概算で算出しています。市の財政的負担を軽減するために国から交付される補助金を積極的に活用しながら、整備を進めることとしています。
<b>【建設場所について】</b>		
22	P7 「浸水対策など施し」となっているが、文化会館は避難場所となっており、大野市ハザードマップの浸水区域に該当する。浸水しない地域での建設は検討されなかったのでしょうか。	新文化会館を現駅東公園に整備する理由は、平成26年度の文化会館の在り方と今後の方向性に関する検討で、「駅東公園も含めた現文化会館の敷地に建設することが望ましい」とし、平成28年度に策定した基本構想において、利便性、早期性、安全性、経済性、用地の確保、市街地活性化、他施設との連携性、法規制などについて、総合的に検討し決めています。

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
23	<p>文化会館を現在地で建て替え、駅東公園を整備して、駐車場対策を考えればよい。その方が、両方の工事を行うより費用がかからない。</p>	<p>文化会館の建設には約2年かかることになり、その間文化会館の利用ができないことから、文化会館の利用が途切れずにスムーズに移行できるよう計画しています。</p> <p>新文化会館を現駅東公園に整備する理由は、平成26年度の文化会館の在り方と今後の方向性に関する検討で、「駅東公園も含めた現文化会館の敷地に建設することが望ましい」とし、平成28年度に策定した基本構想において、利便性、早期性、安全性、経済性、用地の確保、市街地活性化、他施設との連携性、法規制などについて、総合的に検討し決めています。</p>
<b>【工事全体について】</b>		
24	<p>現在の文化会館は水回りなど老朽化しており、喫茶店がなく大変不便を感じています。観客席に関しては、全く問題がないと考えます。ハーモニーホールと比べても座席は快適だと感じます。お手洗いと喫茶店のために別棟を建て、ジョイントしてはどうか。建設費は全館建て直しの10分の1くらいでおさまるのではないのでしょうか。建物を壊す経費が削減でき、歳月がたち本館がだめになった時にも、別棟はそのまま残せます。</p> <p>重要な問題は、駐車場が全く足りていない事です。隣接する公園を駐車場がわりに、しばしば利用していますが、舗装して駐車場にしましてはいかがでしょうか。</p>	<p>現文化会館は、施設の老朽化が進み、特に空調設備は、新設が必要な状況となっています。その他、様々な問題があり、総合的に判断し、新文化会館を整備することとしています。</p> <p>新文化会館では、エントランスホールに日常的な利用を呼び込む機能（喫茶コーナーや情報・展示コーナー）を設け、多目的な活動・交流スペースとすることとしています。</p> <p>駐車場については、新文化会館敷地に約100台分整備することとしていますが、基本設計において、できるだけ多くの駐車場スペースを確保できるよう検討していきます。</p> <p>駅東公園については、市の街区公園に指定されており、地域の方々が訪れる広場としても必要であると認識しております。</p>



番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
25	<p>現状態からの補修改修工事ではどうなのか、費用及び耐用年数なども公表してほしい。</p>	<p>平成 26 年度に文化会館の在り方と今後の方向性に関する検討では、現文化会館を「耐震補強工事」「耐震補強及び改修工事」「廃止」「新築」の 4 つの方向性に分けて協議を行い、「新築」と判断しております。</p> <p>「耐震補強工事」「耐震補強及び改修工事」では、耐震補強により音響が変化し、ホール機能に影響が出てくることや、その他の課題を解決できず、施設の利便性が図れないとしています。</p> <p>耐震補強工事と改修工事の概算費用は、合わせて約 7 億円と算出しています。その他、バリアフリー化やトイレ増設の費用がかかることが予想されます。</p> <p>耐用年数については、法定上は 60 年とされており、今後改修を行っても、再度建替えの必要性が予想され、将来的に二重投資につながると考えることから、新築による文化会館の整備をすることとしています。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
26	<p>現文化会館を耐震対策改修工事するなら7億円かかるが、ホールにブレースが必要となり、客席からの眺望に差し支える説明があったが、構造の工夫や座席数の削減で対応できないのか。</p> <p>建物、設備の寿命は、財務省省令でいう耐用年数（原価償却資産として税法上の課税所得を計算するためのもの）とは別であり、従前から適切に管理運営・修繕されていれば、もっと寿命は長期になると思う。耐用年数がきたからやりかえますというものではない。</p>	<p>平成26年度に文化会館の在り方と今後の方向性に関する検討では、現文化会館を「耐震補強工事」「耐震補強及び改修工事」「廃止」「新築」の4つの方向性に分けて協議を行い、「新築」と判断しております。</p> <p>「耐震補強工事」「耐震補強及び改修工事」では、耐震補強により音響が変化し、ホール機能に影響が出てくることや、その他の課題を解決できず、施設の利便性が図れないとしています。</p> <p>耐震補強工事と改修工事の概算費用は、合わせて約7億円と算出しています。その他、バリアフリー化やトイレ増設の費用がかかることが予想されます。</p> <p>耐用年数については、法定上は60年と言われており、目安となる年数であることから、今後10年程度で再度建替えの話が出てくることが予想され、将来的に二重投資につながる可能性があることから、新築による文化会館の整備をすることとしています。</p>
27	<p>昼の部の住民説明会での感想ですが、「新文化会館建設」は決まっています、その説明の場という会場の空気がありました。2回の住民説明会だけでなく、パブリックコメント集約後も市民との十分な対話型意見交換を行ってほしい。</p>	<p>新文化会館を現駅東公園に整備する理由は、平成26年度の文化会館の在り方と今後の方向性に関する検討で、「駅東公園も含めた現文化会館の敷地に建設することが望ましい」とし、平成28年度に策定した基本構想において、利便性、早期性、安全性、経済性、用地の確保、市街地活性化、他施設との連携性、法規制などについて、総合的に検討し決めています。</p> <p>平成31年度では、基本設計業務に取り組むこととしており、その中で、市民参加のワークショップを開催するなど、市民の皆様の意見をお聞きしながら進める予定としています。</p>
28	<p>移転場所について 現在樹木が繁り、市民にとって憩いの場所となっています。安易に伐採することは市にとっても損失になると思います。現在の位置での建設の再考を希望します。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

番号	意見（要約）	教育委員会の考え方
29	大野市の財政を考えると、公共下水道事業をはじめ、福祉関連事業など、今後まず優先すべき「命を守る、環境を守る」事業のさらなる充実が望まれることから、箱物への新たな支出は控えるべきだと考えます。まずは、健全財政、財政のたて直しがなされるべきです。	ご意見として承ります。 市の財政状況を考慮し、規模を縮小する見直しを行っております。文化芸術の拠点となる施設を目指して整備を進めることとしております。
30	40年以上もかけてはぐくんできた公園をつぶし、木を切り倒し、そして新しい公園づくりに3億円もの費用をかけるという構想そのものに、税金の浪費であり、さらなる借金を次世代にのこしてその場しのぎを続けていくのかと失望しています。	ご意見として承ります。
31	県内の建設業界は、北陸新幹線、中部縦貫道建設ラッシュで人材、機材、資材不足となり県外からの応援なくては進まない事態となっている。この状況下において新文化会館整備に問題はないのか。	今後基本設計において、状況を見極めてまいります。
32	計画（案）の説明会には、昼夜あわせて30人の出席しかありませんでした。このことは、市民の多くが望んでいる事業ではないことのあらわれではないでしょうか。	ご意見として承ります。

### 3 大野市文化会館整備基本計画（案）の修正箇所

基本設計において、施設にあったものを検討することとし、

P10 (3)設備計画4行目 (10kw) を削除しました。

P10 同7行目 (100kw、72時間対応) を削除しました。